

大口町北地域第二次まちづくり計画

2023年度～2025年度

はじめに

1 会長あいさつ

北地域の皆様には、日頃から大口町北地域自治組織の活動に格別のご支援ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

大口町まちづくり基本条例の理念の実現を目指して計画した大口町北地域第一次まちづくり計画は策定より6年が過ぎました。5年計画で3年目に中間評価をし、その評価を基に残り2年間の実践を積み上げる予定でしたが、新型コロナウイルスによる様々な行動制限は実践を困難にし、やむなく計画期間を1年間延長してきました。総会はもとより、機々な行事の中止あるいは変更は、人々の距離感に変化をもたらし自治組織への影響は過大でした。また、実践不足が人々に充足感を満たされない欲求不満ともなってきました。

しかし、そんな中でしたが、大口町北地域第二次まちづくり計画策定に向けて、北地域の将来を見据えるための地域カルテの学習あるいは今日的課題を掴むためのSDGsの学習は続けてまいりました。確実に迫っている少子高齢化の社会、認知症への関心は高まり、高齢者ばかりでなく子供や成人への視点からの課題についても検討を進めている途中です。

大口町北地域自治組織は、大口町これからの地域づくり検討委員会の答申を受け5つの行政区（外坪、河北、上小口、中小口、下小口）と連携して活動することになりました。区長も理事として加わり、地域の課題も地区の課題もみんなで解決していく体制です。連携からまだまだ日が浅く、検討すべき点は多々ありますが、確固たる組織を確立されている行政区と共に活動できることは、コロナ禍の中で実施した避難防災訓練のように行事の効率化、運営の円滑化等が図れると思います。

作成した大口町北地域第二次まちづくり計画は、まだまだ不十分なものです。また策定にあたり様々なご意見をいただきました。活動の反省と評価の不足、行動目標化の必要性等の示唆もありました。実践に当たってはこれらの点を配慮し、綿密な計画を立て、実践し確実に評価して問題点を把握できるようにしたいと思います。

安全で安心な町を皆で作っていく為には様々な課題があります。一つ一つの課題を互いに話し共有し、自治組織の会員である所属感を高めて頂くことも大切です。皆様方お一人お一人の地道な活動こそがまちづくりの原動力です。大口町北地域自治組織は大口町北地域第二次まちづくり計画を基本に活動を続けてまいりますので、今後ともご支援ご協力の程よろしく願いいたします。

令和5年4月

大口町北地域自治組織 会長 藤田 金生

2 計画の期間

2023年度～2025年度（3年間）

3 大口町北地域第一次まちづくり計画の成果

「基本目標」の「安全で安心な住みよい地域社会の形成の実現」に向け、5つの取り組み目標を基に、事業を実施してきました。

①愛知県1番の安全で安心な住みよい北地域をつくる

【主な成果】

- ・青色防犯パトロール啓発活動の結果、侵入盗件数が減少してきました。
- ・北小学校で自転車教室や、連れ去り防止教室を実施し、子どもたちの「自分の命は自分で守る力」の育成をしてきました。
- ・登下校時の見守り活動、江南警察署のご協力により開催した北小学校4年生対象の自転車教室、2年生対象の連れ去り防止教室が評価されに令和4年度学校保健及び学校安全表彰の学校安全ボランティアの部で、文部科学大臣表彰を受賞しました。

②愛する家族、ふるさとを守る、災害に強い北地域をつくる

【主な成果】

- ・タオルによる安否確認訓練を継続実施することができました。
- ・新型コロナ禍で2年中止した集合訓練も、再開に備える活動と協力団体への働きかけを継続し、2022年度は訓練を実施することができました。
- ・防災標語募集（児童）や行政区と共に防災講座等を継続実施することができました。
- ・防災倉庫点検を継続実施し、収納品補充を行うことができました。
- ・上記事項を実施し、新型コロナ渦でも地域防災力低下抑制と強化に向けた道筋をつけることができました。

③北地域内の区域、世代を越えた、人と地域の強い絆を育む

【主な成果】

- ・福祉の集いでは、認知症についての勉強や徘徊者搜索訓練を行い、声かけや見守りの方法と搜索方法を周知できました。

④北地域の豊かな自然環境を守り育て次の世代へとつなげる

【主な成果】

- ・セブンイレブン記念財団からの助成金を活用して、花壇づくりを行い景観の保護ができました。
- ・他団体と協力し、悪質なゴミのポイ捨てを減らすことができました。

⑤まちづくり計画を確実に実施できる、大口町北地域自治組織の構築

【主な成果】

- ・区長が理事会に参加し、区との連携にも一歩踏み出すことができました。

4 大口町北地域第二次まちづくり計画策定の背景

北地域自治組織においては、地域の課題を正しく把握するために、住民アンケート調査を実施し、そのアンケート結果から未来に向けて住みよい北地域づくりを実現するために、2017年度から2022年度までの6か年を計画期間とした大口町北地域第一次まちづくり計画を策定しました。

また、中間年度では本計画を見つめ直したうえで各種事業を展開すべく、各部会を中心に中間評価を実施いたしました。

そして、2022（令和4）年度をもってこの計画が終了したことから、社会潮流、住民の意識やニーズの変化、今後の社会の変化を見定めるとともに大口町北地域第一次まちづくり計画の成果や課題などを踏まえ、新たなステージを着実に歩んでいくためのまちづくりの指針として、大口町北地域第二次まちづくり計画を策定しました。

5 大口町北地域第二次まちづくり計画の趣旨

大口町北地域第二次まちづくり計画は、大口町北地域第一次まちづくり計画の「基本目標」に掲げる、「安全で安心な住みよい地域社会の形成の実現」に向け、5つの取り組み目標を基に、まちづくりを計画的に進めていく方向性や事業実施計画を示しています。

大口町北地域第二次まちづくり計画の5つの取り組み目標

- （1）まちづくり計画を確実に実施できる、大口町北地域自治組織の構築
- （2）愛知県1番の安全で安心な住みよい北地域をつくる
- （3）愛する家族、ふるさとを守る、災害に強い北地域をつくる
- （4）北地域内の区域、世代を越えた、人と地域の強い絆を育む
- （5）北地域の豊かな自然環境を守り育て次の世代へとつなげる

6 大口町北地域第二次まちづくり計画の概要

令和4年度から区長が理事会に参加し、行政区との更なる連携が取れ、区の困りごとを直接耳にすることも増えましたが、地域課題を自治組織だけで解決することは困難であると考えます。

そこで、大口町の豊かな人材を溢れているので職業・趣味・生活などで身につけた知識や技能を持った人に特技を活かす場所を提供していくことが必要であります。

そのために、

- (1) 得意分野を活かした役割分担により、自分が必要とされている喜びや達成感を感じる仕掛けづくり
- (2) 役員の負担軽減に向けた組織体制・役員構成の見直しや運営マニュアルの作成
- (3) 関係組織・団体との連携や役割分担など課題解決に取り組むための仕組みづくり

これら3つの課題をテーマに大口町北地域第二次まちづくり計画を策定しました。

また、大口町北地域第二次まちづくり計画に基づく、まちづくりを着実に進めるにあたり、取り組み目標の成果や課題・今後の取組方針などを振り返り、評価を毎年度実施していきます。